



糸で描く。編むデザイナーの制作現場

Keiichi Muramatsu of fashion, textile, knit designer based in Shizuoka

2017年10月21日|土|, 22日|日|, 28日|土|, 29日|日| 各日9:00-16:30

旧エンバーソン住宅 | 日本平動物園隣接 | 〒422-8005 静岡市駿河区池田2864-52 | 入場無料



静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

主催：静岡市南部生涯学習センター指定管理者静岡市文化振興財団共同事業体 企画協力：ANDWOOL 協力：NPO法人静岡ヘリテージング 問い合わせ：静岡市南部生涯学習センター054-281-2184 (月・祝日休館)

糸で描く。～編むデザイナーの制作現場～ Keiichi Muramatsu of fashion, textile, knit designer based in Shizuoka

1本の糸から紡ぎ出される無限の可能性を信じて。

静岡を拠点に活動するファッションデザイナー村松啓市は、「ニットや編み物をより身近に。」という想いから誰でも楽しめる編み物ワークショップを各地で展開し、ものづくりの背景を伝えます。ファッションという言葉にとらわれず、つくり手と使い手をつなぎ、日々の暮らしに溶け込む手芸のあり方を提案することで、ものとの関わり方や使い方について発想を広げさせてくれるような試みです。

糸づくりから素材にこだわり、技術特許を持つほど、ニットに精通する村松の柔軟なデザインは針仕事から生まれ、まるで“糸で描く”ようです。また、それらをプロダクトに落とし込む独自のスタイルはファッション・アパレル・手芸業界で高く評価、支持され続けています。本展では、静岡を拠点に日常的な視点を持ちながら、新しい表現の模索を続ける村松の制作現場と未来へのビジョンを紹介・展示します。

静岡で生まれるファッションの世界を木立の鳥たちがさえずる日本平の山腹「旧エンバーソン住宅」で是非、お楽しみください。糸で描いているのは、日々の暮らしそのものかもしれません。



■【腕編みでスヌードを作るワークショップ】(約60分)

超極太毛糸で道具を使わずに、両腕を使って編む【腕編み】の技法でスヌードを作ります。編み物がはじめての方もお気軽にご参加ください。

日時：10月21日(土)・29日(日) 10:00～
定員：9歳以上どなたでも各回6人(初心者歓迎)
料金：一人3,000円(材料費込み・道具は貸出します。)

■【編み機でカシミアストールを作るワークショップ】(約60分)

昔ながらの編み機を動かす体験をしてととても軽くて柔らかいストールを編みます。糸のセッティングや仕上げ加工はスタッフがいたします。上質なカシミアウール毛糸を用意しました。詳細はホームページをご覧ください。https://www.andwool.com/

日時：10月21日(土)・29日(日)13:00～・14:30～ | 28日(土)10:00～
定員：12歳以上どなたでも各回3人(初心者歓迎)
料金：一人6,000円～15,000円(材料費込み・道具は貸出します。糸の量によって金額が異なります。当日お選びください。)

申込：静岡市南部生涯学習センターへWEBまたは往復ハガキ申込み10/7(土)必着(多数抽選) ※静岡市生涯学習センターHP: <http://sgc.shizuokacity.jp/> より講座情報のフリーワード検索「糸で描く」で検索してください。

村松 啓市 Keiichi Muramatsu (ファッション・ニット・テキスタイルデザイナー / AND WOOL ディレクター)

1981年生まれ。文化服装学院ニットデザイン科卒業。イタリアの高級毛糸メーカー【リネアビウ】にて、待生生として留学。帰国後、2004年にファッションブランド【everlasting sprout(エバラスティングスプラウト)】を設立。自身のブランドのファッションショーやインスタレーションでコレクション発表を続けながら、国内外にて様々なアーティストやデザイナーとコラボレーションするとともに、ニット作家としても活躍。2011年より拠点を藤枝市に移し、2016年、島田市にニットや手芸を身近に感じられるようなコンセプトショップ&アトリエ【AND WOOL】設立。ものづくりの背景がわかるような編み物ワークショップやPOPOP SHOPを各地で行い、ニットカルチャーを広めている。HP: <https://www.everlasting-sprout.com/>

■トーク「日常から生み出すもの」

「ファッション」と「建築」、分野は異なりますが、同年代生まれ、同時期より静岡を拠点に活動し始めた2人。自身の生活圏のコミュニティと関わり日常的な視点を持ちながら、国際的に活躍の場を広げる2人が、それぞれの共通点や相違、日常から生み出されるものについて対談形式で見出していきます。

トーク：村松 啓市、彌田 徹 定員：どなたでも30人(入場無料/会場：旧エンバーソン住宅1階)
日時：10月28日(土)13:30～15:00
申込：9月28日(木)14:00～電話で静岡市南部生涯学習センター(054-281-2184)へお申込み(申込順)

彌田 徹 Toru Yada (建築家 / 403architecture[dajiba] 共同主宰)

1985年生まれ。2008年横浜国立大学卒業、2011年筑波大学大学院修了。同年、辻琢磨、橋本健史とともに建築設計事務所403architecture [dajiba] 設立。浜松の市街地を中心としたプロジェクトでは、地域の動態や資源を捉えた建築をとおして、周辺環境や都市に影響を与えている。2014年、吉岡賞受賞、2016年ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館にて審査員特別表彰。あいちトリエンナーレ2016に出展するなど分野を横断し、多岐に渡る活動を全国で展開する。 <http://www.403architecture.com/>

旧エンバーソン住宅

日本平動物園 隣接 静岡市駿河区池田2864-52



■静岡市指定有形文化財 旧エンバーソン住宅 (土・日・祝 開館、開館時間9:00～16:30、入館無料)

カナダからキリスト教伝道のため日本に派遣されたロバート・エンバーソンの自邸として明治37年に静岡市葵区西草深に建設。木造2階建寄棟、一部に屋根窓をもち、南側にテラス、玄関に突き出したバルコニーのついた明治の西洋館、本格的木造洋風住宅。老朽化により昭和62年、現・静岡市駿河区池田に移築復元され、平成21年に市指定有形文化財に指定された県内に残る唯一の外国人宣教師住宅。

■旧エンバーソン住宅今昔ツアー

移築を経て100年以上前から歴史が紡がれ、現在に至る旧エンバーソン住宅。その建築からは、現在の佇まいの中に当時の暮らしの面影も感じることが出来ます。旧エンバーソン住宅をじっくり見ながら、今と昔の差異や共通点を見つけるツアーです。

ガイド：彌田 徹 定員：どなたでも15人(参加無料)
日時：10月28日(土) 11:30、15:30 ※各回30分程度
申込：9月28日(木)14:00～電話で静岡市南部生涯学習センター(054-281-2184)へお申込み(申込順)

■バス バス下車後、車道の隅を歩く道もありますので十分にお気を付けてください。

JR 東静岡駅 ▶ 日本平動物園

日本平動物園 ▶ JR 東静岡駅

■車

(1) しずてつジャストライン (2) JR 東静岡駅⇄動物園 直行バス
JR 静岡駅(北口11番のりば)または東静岡駅 「動物園に行こう!線」、「動物園に行ってきた!線」(土・日・祝:直行便、1日9往復) 平線」で10～20分 バス停「動物園口」下車後、【運賃】片道 大人190円 小人100円 徒歩15分 ※1時間に1本程度 往復 大人350円 小人180円

JR 東静岡駅発	⑤ 12:30
① 9:20	⑥ 13:25
② 10:00	⑦ 13:55
③ 10:40	⑧ 14:35
④ 11:20	⑨ 15:15

日本平動物園発	⑤ 13:00
① 9:35	⑥ 13:40
② 10:15	⑦ 14:10
③ 10:55	⑧ 14:50
④ 11:35	⑨ 15:30

東名高速 静岡ICから約30分

専用駐車場なし(日本平動物園の有料駐車場(610円/1回)をご利用ください) ※旧エンバーソン住宅はP3が最寄りですが駐車場の混雑状況によってP3に駐車できない場合があります。 ※交通アクセスの詳細は日本平動物園HPをご覧ください。

MAP

進入方法

- ①信号を直進(日本平パークウェイ方面)
- ②静岡英和学院大学を通過
- ③進入路入口を左折

